

ASCET V6.2

管理ガイド (Administration Guide)



著作権について

本書のデータを ETAS GmbH からの通知なしに変更しないでください。ETAS GmbH は、本書に関してこれ以外の一切の責任を負いかねます。本書に記載されているソフトウェアは、お客様が一般ライセンス契約または単一ライセンスをお持ちの場合に限り使用できます。ご利用および複写はその契約で明記されている場合に限り、認められます。

本書のいかなる部分も、ETAS GmbH からの書面による許可を得ずに、複写、転載、伝送、検索システムに格納、あるいは他言語に翻訳することは禁じられています。

© **Copyright 2013** ETAS GmbH Stuttgart, Germany

本書で使用する製品名および名称は、各社の（登録）商標またはブランドです。

Document EC010004 V6.2 R01 JP - 10.2013

目次

1	はじめに	5
1.1	安全に関する注意事項	5
1.1.1	適切な製品の使用について	5
1.1.2	安全に関する注意事項の記述書式	5
1.1.3	本製品に関する特殊な注意事項	5
1.2	ASCET の製品ドキュメント	6
1.3	本書について	6
1.3.1	本書の使用方法	6
2	ASCET オプションのカスタマイズ	8
2.1	オプションの定義	8
2.2	ASCET の外部オプション	9
2.3	カスタマイズ機能	9
2.4	カスタマイズの手順	10
2.4.1	生成されたオプションカスタマイズ用ファイルの内容	11
2.4.2	カスタマイズが不可能な ASCET オプション	14
2.4.3	オプションカスタマイズ用ファイル *.aoc.xml のカスタマイズ例	16
3	ASCET-DIFF – デフォルト設定のカスタマイズ	20
3.1	ASCET-DIFF プリファレンス	20
3.2	デフォルト設定の変更	20
3.2.1	DamePreferences.properties ファイルをカスタマイズする	21
3.2.2	DamePreferences.properties ファイルのカスタマイズ例	25
3.2.3	変更した DamePreferences.properties ファイルの配布	26
4	お問い合わせ先	28
	索引	29

1 はじめに

本書は、ASCET 製品ファミリの構成を管理する方を対象としています。

本書はをお読みいただくには、ASCET 製品ファミリとオペレーティングシステム (Microsoft Windows® Vista または Windows® 7) についての知識が必要です。

1.1 安全に関する注意事項

本製品を使用する際には、ユーザーの負傷やデバイスの損壊などを避けるため、製品の信頼性に関する免責条項 (「ETAS Safety Advice - 安全上の注意事項」)、および下記の注意事項をよくお読みいただき、その指示に従ってください。

1.1.1 適切な製品の使用について

製品の不適切な使用や安全に関する注意事項に従わないことにより生じた一切の損害について、ETAS GmbH は責任を負いません。

1.1.2 安全に関する注意事項の記述書式

本書内に記述されている安全に関する注意事項には、下記の標準シンボルが併記されます。



安全に関する注意事項は以下の書式で記述されます。これらの情報は必ずよくお読みください。



警告!

中程度の危険性に関する注意事項です。記載事項を守らないと、重傷や生命の危険を招く可能性があります。



注意!

軽度の危険性に関する注意事項です。記載事項を守らないと、軽～中程度の負傷を招く危険性があります。



注記

物的損傷を招く可能性のある挙動についての説明です。

1.1.3 本製品に関する特殊な注意事項

本製品を安全に使用するには、一般的な注意事項に加え、以下の特殊な要件も守ってください。

- 本製品の準備や操作を行う前に、本製品を使用する環境が所定の条件を満たしていることを確認してください。各条件については、使用する PC やハードウェアのドキュメントを参照してください。

さらに、他の関連するマニュアルの「安全に関する注意事項」の項や、製品 DVD に収められている ASCET V6.2 安全マニュアル (サポート窓口までお問い合わせください) に記載されている注意事項もよくお読みください。

1.2 ASCET の製品ドキュメント

ASCET 製品には、オンラインヘルプと以下の PDF マニュアルが含まれています。以下のファイルは、製品インストール時に ETAS¥ETASManuals¥ フォルダにコピーされます。

- **ASCET V6.2 Installation.pdf**
- **ASCET V6.2 Getting Started.pdf**
- **ASCET V6.2 AUTOSAR Users Guide.pdf**
- **ASCET V6.2 GUI Reference.pdf**
- その他 ASCET アドオン製品用マニュアル

注記

主なマニュアルとオンラインヘルプについては日本語版も用意されており、これらのファイルは ETAS のホームページからダウンロードしていただくことができます。なおオンラインヘルプにつきましては、バージョンによっては日本語版のリリースが遅れる場合がありますので、ご了承ください。詳しくはサポート窓口までお問い合わせください。

1.3 本書について

1.3.1 本書の使用法

表現について

ユーザーが実行するすべてのアクションは、いわゆる “Use-Case” 形式で記述されています。つまり以下に示すように、操作を行う目標がタイトルとして最初に簡潔に定義され（例：「新しいコンポーネントを作成する」、「エレメントの名前を変更する」）、その下に、その目標を実現するために必要な操作手順が列挙され、必要に応じて ASCET のウィンドウやダイアログボックスのスクリーンショットが添付されています。

目標の定義：

前置き ...

- 操作 1
操作 1 についての説明 ...
- 操作 2
操作 2 についての説明 ...
- 操作 3
操作 3 についての説明 ...

まとめ ...

具体例：

新しいファイルを作成する：

新しいファイルを作成する際は、他のファイルをすべて閉じておきます。

- **File** → **New** を選択します。
“Create file” ダイアログボックスが開きます。
- 新しいファイルの名前を、“File name” フィールドに入力します。
ファイル名は 8 文字以内でなければなりません。
- **OK** をクリックします。

新しいファイルが作成され、ユーザーが指定した名前で作成されます。このファイルを使用して以降の操作を行います。

表記上の規則

本書は以下の規則に従って表記されています。

表記例	説明
File → Exit を選択して、...	メニューコマンドは、 青の太字 で表記します。
OK をクリックして、...	ユーザーインターフェース上のボタン名は、 青の太字 で表記します。
<Ctrl> を押して、...	キーボードの各キーは、 <> で囲んで表記します。
“Open File” ダイアログボックスが開きます。	プログラムウィンドウ、ダイアログボックス、入力フィールド等のタイトルは、“ ” で囲んで表記します。
setup.exe ファイルを選択します。	リストボックス、プログラムコード、ファイル名、パス名等のテキスト文字列は、Courier フォントで表記します。
論理型のデータから算術型のデータへの変換は できません 。	注意すべき箇所、または新出の用語は 太字 、あるいは「」で囲んで表記されます。
OSEK グループ (http://www.osek-vdx.org/ を参照してください) はさまざまな標準規格を策定しています。	インターネットへのリンクは、 アンダーラインの付いた青い文字 で表記されています。

特に重要な注意事項は、以下のように表記されています。

注記

ユーザー向けの重要な注意事項

また PDF 文書において、索引、および他の部分を参照する箇所（例：「xx を参照してください」の中の「xx」の部分）については、その参照先へのリンクが設けられているので、必要な参照箇所を素早く見つけることができます。

2 ASCET オプションのカスタマイズ

ASCET オプションやプロジェクトプロパティの設定について、以下のような理由により社内の規定に合わせて制限する必要がある場合、本章で説明する「オプションのカスタマイズ」機能を利用することができます。

- コーディングの社内規定などに応じて、ASCET オプションやプロジェクトプロパティを所定の設定にする必要がある
- 不適切なオプション変更により、モデルの内容や生成されるコードの内容が、不正になったりプロジェクト要件に合わなくなったりする可能性がある
- 不適切なオプション変更により問題が発生した場合、変更履歴をさかのぼって解析するのが困難である

2.1 項では、ASCET のオプションとプロジェクトプロパティの XML 定義について説明します。ASCET に用意されている外部オプションメカニズム (2.2 項) を用いて独自の ASCET ユーザーオプションを追加することもでき、またオプションカスタマイズ機能 (2.3 項および 2.4 項) を用いてオプションのデフォルト値を変更したり、オプションを書き込み禁止にしたり、非表示にしたりすることもできます。

2.1 オプションの定義

各オプションは以下の基本フォーマットで定義されます。イタリック (斜体文字) 部分は、それぞれ適切な値に置き換える必要があります。

```
<OptionDeclaration
  xmlCategory="path"
  optionCategory="value"
  optionClass="type"
  attributeName="option name"
  optionFile="filename.xml"
  sensitive="true/false"
  visible="true/false">
  <Group>path</Group>
  <Label>text</Label>
  <Description>text</Description>
  <Tooltip>text</Tooltip>
  <InitialValue>value</InitialValue>
  <DefaultValue>value</DefaultValue>
  <Value>value</Value>1
  <FileOption>definition</FileOption>2
  <EnumerationOption>definition</EnumerationOption>2
  <ButtonOption>definition</ButtonOption>2
  <NumericOption>definition</NumericOption>2
</OptionDeclaration>
```

¹. 自動的に生成されるオプションファイル内 (10 ページと 2.4.1 項を参照) には存在しないため、ユーザーが追加する必要があります。*.aoc.xml ファイル内でのみ有効です。

². 特殊な optionClass 用にのみ有効です。

2.2 ASCET の外部オプション

ユーザー独自の要件に合わせて定義されたオプションを ASCET に追加するには、専用の XML ファイルを使用します。このファイルには以下の拡張子を使用し、ASCET のインストールディレクトリに格納します。

***.aod.xml**

詳しくは ASCET オンラインヘルプの「コンポーネントマネージャ」セクションを参照してください。

2.3 カスタマイズ機能

既存のオプションの宣言に使用される各種属性（2.1 項参照）については、カスタマイズできる内容は限られています。

属性	カスタマイズ		
	可能	未対応	不可能
optionCategory			✓
attributeName			✓
optionClass			✓
xmlCategory			✓
sensitive	✓		
visible	✓		
optionFile			✓
<Group>		✓	
<Label>		✓	
<Description>		✓	
<Tooltip>		✓	
<InitialValue>		✓	
<DefaultValue>	✓		
<Value>	✓		
<FileOption>			✓
<EnumerationOption>			✓
<ButtonOption>			✓
<NumericOption>			✓

表 2-1 カスタマイズ可能なオプション属性の概要

オプションを管理する主体は ASCET であるため、ユーザーがカスタマイズ機能を利用して以下のことを行うことはできません。

- 既存のオプションを削除する
- 新しいオプションを追加する
- オプションタイプを変更する
- 内部オプション識別子を変更する
- 無効な値や不正な値をデフォルト値として使用する
- オプションの依存性を変更する（例：オプション A が特定の値に設定されている場合に限り、オプション B が編集可能になるようにする）

2.4 カスタマイズの手順

手順の概略:

1. ASCET をインストールして起動する
2. ASCET オプションダイアログボックスからオプションカスタマイズ用ファイル (*.aoc.xml) を作成する
3. 適宜編集した *.aoc.xml ファイルを ASCET インストールディレクトリにコピーする
(インストールのカスタマイズにより自動的にコピーされるようにすることもできます)
4. ASCET を再起動する
起動時において ASCET は最初にビルトインオプション定義を読み込み、次に *.aoc.xml ファイル内のカスタマイズされたオプション定義を読み込みます。

オプションカスタマイズ用ファイル (*.aoc.xml) のテンプレートを作成する:

- コンポーネントマネージャで **Tools → Options** を選択して、ASCET オプションダイアログボックスを開きます。
- オプションダイアログボックス左側のツリーペインがアクティブになっていることを確認します。
- **<ALT> + <D>** を押します。
Windows のファイル選択ダイアログボックスが開きます。“ファイル名”フィールドにはデフォルトのファイル名 OptionDeclarations.aoc.xml が表示されます。“ファイルの種類”フィールドには .xml が表示され、変更はできません。
オプションカスタマイズ用ファイルには、必ず *.aoc.xml という拡張子を使用します。
- オプションカスタマイズ用ファイルのパスとファイル名を指定し、**保存** をクリックします。
オプションカスタマイズ用のテンプレートとして使用できるファイルが保存されます。ファイルの内容は 11 ページの 2.4.1 項を参照してください。

注記

生成されたファイルには、カスタマイズできないタイプのオプションも含まれています (2.4.2 項参照)。ファイルを編集してオプションのカスタマイズを行う際には、必ず前もってこれらのオプションを削除してください。

オプションカスタマイズ用ファイル *.aoc.xml を作成する:

- 生成されたテンプレートファイル *.aoc.xml をテキストエディタで開きます。
- 新しい空のオプションカスタマイズ用ファイル (*.aoc.xml) を作成します。
- 以下の行を新しいファイルにコピーします。

```
<?xml version="1.0" encoding="US-ASCII"?>
<OptionDeclarations
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:noNamespaceSchemaLocation="externalOptions.xsd">

</OptionDeclarations>
```

- カスタマイズしたいオプションの `<OptionDeclaration>` セクション (`<OptionDeclarations ...>` タグから `</OptionDeclarations>` タグまで) を、テンプレートファイル (自動生成された `*.aoc.xml` ファイル) から新しいファイルにコピーします。
上記のように新しいファイルを作成する代わりに、テンプレートファイルからカスタマイズできないオプション (14 ページの 2.4.2 項を参照) の部分を削除し、それを使用してカスタマイズを行うこともできます。
- カスタマイズしたいオプションについて、以下のよう
に編集します。
 - 当該オプションの `<OptionDeclaration>` セクションを探します。
 - オプションが「表示」されるようにするには、`visible` 属性を `true` にします。
 - オプションを「非表示」にするには、`visible` 属性を `false` にします。
 - オプションを「編集可」にするには、`sensitive` 属性を `true` にします。
 - オプションを「編集不可」にするには、`sensitive` 属性を `false` にします。
 - `<Value>` 部分に適切な入力します。
 - `<DefaultValue>` 部分に適切なデフォルト値を入力します。

注記

デフォルト値を変更しても、オプションのカレント値は変更されません。

- オプションカスタマイズ用ファイルを保存します。

カスタマイズされたオプションを有効にするには、オプションカスタマイズ用ファイルを各 ASCET ユーザー用の ASCET インストールディレクトリにコピーします。

2.4.1 生成されたオプションカスタマイズ用ファイルの内容

```
<?xml version="1.0" encoding="US-ASCII"?>
<OptionDeclarations
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:noNamespaceSchemaLocation="externalOptions.xsd">
```

```

<OptionDeclaration                                ↓
  optionCategory="FILE"                          ↓
  attributeName="UserActionsBufferSize"          ↓
  optionClass="EtasNumericOption"                ↓
  xmlCategory="ToolSettings"                     ↓
  visible="true"                                  ↓
  sensitive="true"                                ↓
  optionFile="d:\ETASData\ASCET6.2\User\ml_user\  ↓
    userSettings.xml">
<Group></Group>
<Label>User Actions Buffer Size</Label>
<Description>Define the size of last            ↓
  &lt;i&gt;&lt;n&gt;&lt;/i&gt; user actions ↓
  that are stored and transmitted on a walkback ↓
</Description>
<Tooltip>Number of user actions to be Stored</Tooltip>
<InitialValue>100</InitialValue>
<DefaultValue>100</DefaultValue>
<NumericOption>
  <MinValue>0</MinValue>
  <MaxValue>1000</MaxValue>
</NumericOption>
</OptionDeclaration>
...
<OptionDeclaration                                ↓
  optionCategory="FILE"                          ↓
  attributeName="WatermarkShow"                  ↓
  optionClass="EtasContainerOption"              ↓
  xmlCategory="EditorSettings\BlockDiagram"      ↓
  visible="true"                                  ↓
  sensitive="true"                                ↓
  optionFile="d:\ETASData\ASCET6.2\User\ml_user\  ↓
    userSettings.xml">
<Group>Appearance\Editors\Block Diagram</Group>
<Label>Show Watermark</Label>
<Description>Show Watermarks (e.g. the currently ↓
  selected View) in BDE</Description>
<Tooltip>Show Watermarks in BDE</Tooltip>
<InitialValue>>true</InitialValue>
<DefaultValue>>true</DefaultValue>
</OptionDeclaration>
<OptionDeclaration                                ↓
  optionCategory="FILE"                          ↓
  attributeName="WatermarkSize"                  ↓
  optionClass="EtasNumericOption"                ↓
  xmlCategory="EditorSettings\BlockDiagram"      ↓
  visible="true"                                  ↓
  sensitive="true"                                ↓
  optionFile="d:\ETASData\ASCET6.2\User\ml_user\  ↓

```

```

    userSettings.xml">
<Group>Appearance\Editors\Block Diagram</Group>
<Label>Watermark Size (px)</Label>
<Description>Fontsize of the Watermark in BDE ↓
</Description>
<Tooltip>Size of the Watermark</Tooltip>
<InitialValue>20</InitialValue>
<DefaultValue>20</DefaultValue>
<NumericOption>
    <MinValue>1</MinValue>
    <MaxValue>200</MaxValue>
</NumericOption>
</OptionDeclaration>
...
<OptionDeclaration                                ↓
    optionCategory="FILE"                            ↓
    attributeName="PageNumberShow"                  ↓
    optionClass="EtasBooleanOption"                 ↓
    xmlCategory="EditorSettings\BlockDiagram"       ↓
    visible="true"                                    ↓
    sensitive="true"                                  ↓
    optionFile="d:\ETASData\ASCET6.2\User\ml_user\  ↓
        userSettings.xml">
<Group>Appearance\Editors\Block Diagram</Group>
<Label>Show Page Number</Label>
<Description>Show the page number in the BDE ↓
</Description>
<Tooltip>Show Page Number in BDE</Tooltip>
<InitialValue>>false</InitialValue>
<DefaultValue>>false</DefaultValue>
</OptionDeclaration>
...
<OptionDeclaration                                ↓
    optionCategory="FILE"                            ↓
    attributeName="DisplayConnectionPortSelectionBox" ↓
    optionClass="EtasBooleanOption"                 ↓
    xmlCategory="EditorSettings\BlockDiagram"       ↓
    visible="true"                                    ↓
    sensitive="true"                                  ↓
    optionFile="d:\ETASData\ASCET6.2\User\ml_user\  ↓
        userSettings.xml">
<Group>Appearance\Editors\Block Diagram</Group>
<Label>Display Connection Port Selection Box</Label>
<Description>Only in Connection Mode: With the mouse ↓
    over the diagram elements there is an extra ↓
    selection box showed for the selection of the ↓
    connection ports.</Description>

```

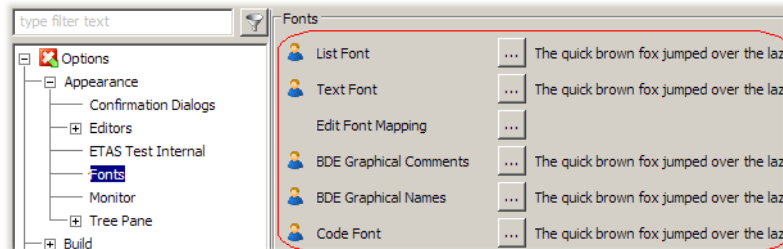
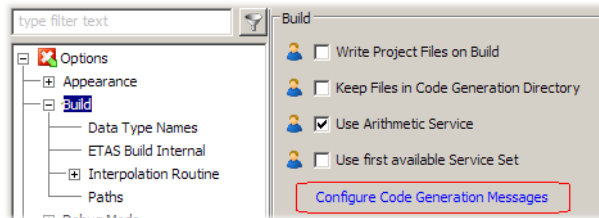
```

<Tooltip>Display the Connection Port Selection Box ↓
</Tooltip>
<InitialValue>>true</InitialValue>
<DefaultValue>>true</DefaultValue>
</OptionDeclaration>
...
</OptionDeclarations>
    
```

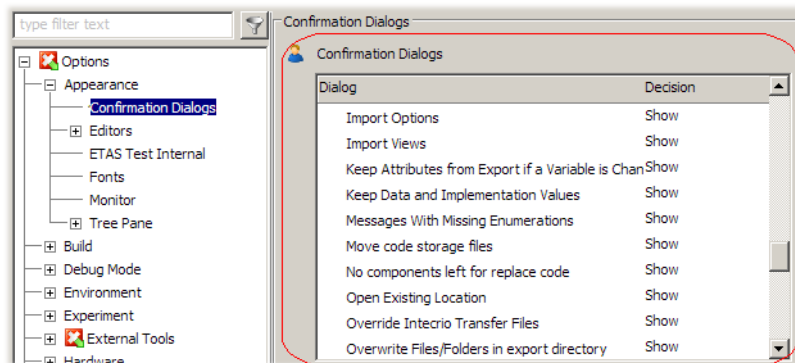
2.4.2 カスタマイズが不可能な ASCET オプション

カスタマイズできるオプションは、単純な値が設定されるタイプのオプションに限定されます。以下に示す例のような複雑な設定が必要なオプションについてはカスタマイズは行えませんが、「表示」 / 「非表示」、および「編集可」 / 「編集不可」を指定することはできます。

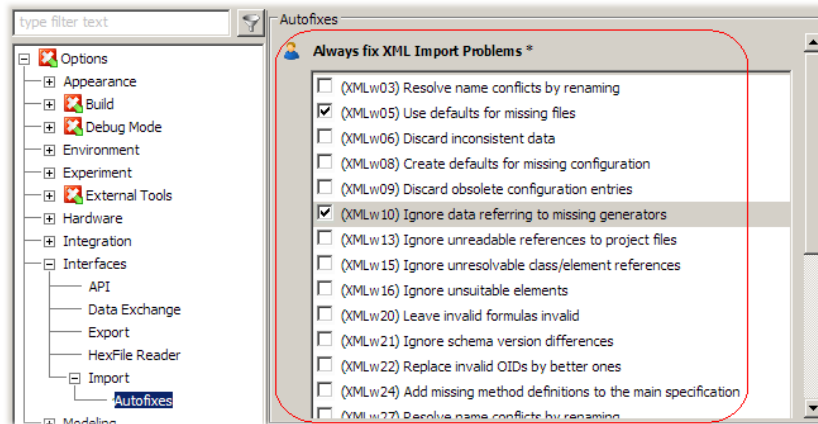
- ボタン、およびリンクを指定するオプション (optionClass="EtasButtonOption")



- 複数の項目を設定するオプション (optionClass="EtasMultiSelectConfigurationOption")



- 複数の項目を選択するオプション
(optionClass="EtasMultiSelectEnumerationOption")



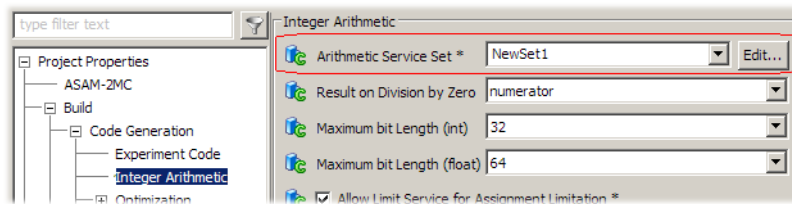
- チャイルドオプションを含むコンテナオプション
(optionClass="EtasContainerOption")



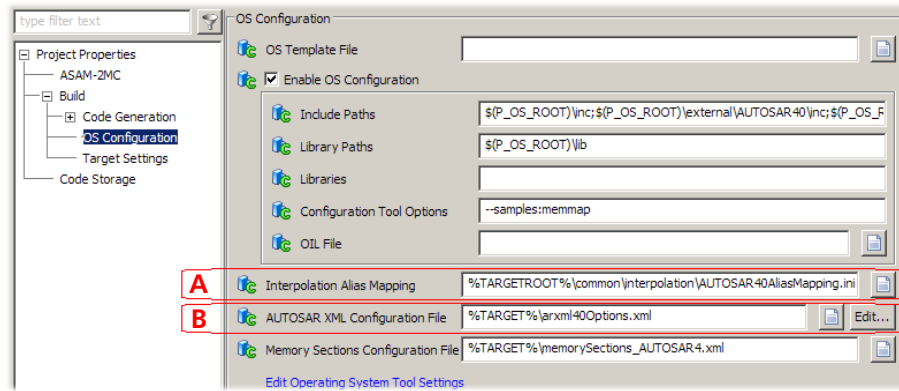
注記

コンテナオプションを非表示にすると、そのチャイルドオプションも非表示になります。

- optionClass="EtasEditableEnumerationOption" のオプション



- optionclass="EtasEditableXMLFileOption" (A) または "EtasPathTokenFileOption" (B) のオプション



2.4.3 オプションカスタマイズ用ファイル *.aoc.xml のカスタマイズ例

一例として、下図に示される ASCET オプションダイアログボックスの "Block Diagram" ノードの 3 つのオプション **Display Connection Port Selection Box**、**Show Watermark**、**Show Page Number** は、デフォルトにおいては「表示」モードで、かつ「編集可」になっています。同じノードの **Watermark size (px)** も「表示」モードですが、**Show Watermark** がオンになっている場合にのみ「編集可」になります。

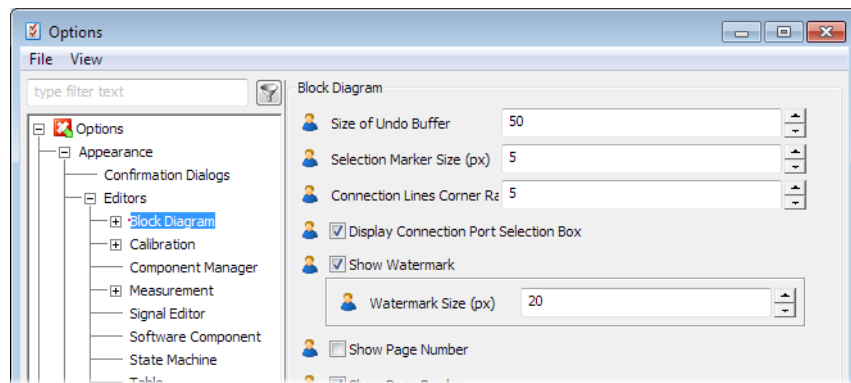


図 2-1 オプションの表示内容 (システムデフォルト値)

以下に、*.aoc.xml ファイルでこれら 4 つのオプションをカスタマイズする方法をご紹介します。変更または追加された部分は青い文字、オプション名は太字で示されています。

```
<?xml version="1.0" encoding="US-ASCII"?>
<OptionDeclarations
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:noNamespaceSchemaLocation="externalOptions.xsd">
  <OptionDeclaration
    optionCategory="FILE"
    attributeName="WatermarkShow"
    optionClass="EtasContainerOption"
    xmlCategory="EditorSettings\BlockDiagram"
    visible="true"
```



```

sensitive="false"
optionFile="d:\ETASData\ASCET6.2\User\ml_user\
  userSettings.xml">
<Group>Appearance\Editors\Block Diagram</Group>
<Label>Show Watermark</Label>
<Description>Show Watermarks (e.g. the currently
  selected View) in BDE</Description>
<Tooltip>Show Watermarks in BDE</Tooltip>
<InitialValue>>true</InitialValue>
<DefaultValue>>true</DefaultValue>
</OptionDeclaration>
<OptionDeclaration
  optionCategory="FILE"
  attributeName="WatermarkSize"
  optionClass="EtasNumericOption"
  xmlCategory="EditorSettings\BlockDiagram"
  visible="true"
  sensitive="true"
  optionFile="d:\ETASData\ASCET6.2\User\ml_user\
    userSettings.xml">
<Group>Appearance\Editors\Block Diagram</Group>
<Label>Watermark Size (px)</Label>
<Description>Fontsize of the Watermark in BDE
  </Description>
<Tooltip>Size of the Watermark</Tooltip>
<InitialValue>20</InitialValue>
<DefaultValue>50</DefaultValue>ml_user
<Value>50</Value>
<NumericOption>
  <MinValue>1</MinValue>
  <MaxValue>200</MaxValue>
</NumericOption>
</OptionDeclaration>
<OptionDeclaration
  optionCategory="FILE"
  attributeName="PageNumberShow"
  optionClass="EtasBooleanOption"
  xmlCategory="EditorSettings\BlockDiagram"
  visible="true"
  sensitive="false"
  optionFile="d:\ETASData\ASCET6.2\User\ml_user\
    userSettings.xml">
<Group>Appearance\Editors\Block Diagram</Group>
<Label>Show Page Number</Label>
<Description>Show the page number in the BDE
  </Description>
<Tooltip>Show Page Number in BDE</Tooltip>

```

```

<InitialValue>>false</InitialValue>
<DefaultValue>true</DefaultValue>
<Value>true</Value>
</OptionDeclaration>
<OptionDeclaration                                ↓
  optionCategory="FILE"                            ↓
  attributeName="DisplayConnectionPortSelectionBox" ↓
  optionClass="EtasBooleanOption"                 ↓
  xmlCategory="EditorSettings\BlockDiagram"        ↓
  visible="true"                                    ↓
  sensitive="true"                                  ↓
  optionFile="d:\ETASData\ASCET6.2\User\ml_user\   ↓
    userSettings.xml">
  <Group>Appearance\Editors\Block Diagram</Group>
  <Label>Display Connection Port Selection Box</Label>
  <Description>Only in Connection Mode: With the mouse
  ↓
    over the diagram elements there is an extra ↓
    selection box showed for the selection of the ↓
    connection ports.</Description>
  <Tooltip>Display the Connection Port Selection Box ↓
    </Tooltip>
  <InitialValue>true</InitialValue>
  <DefaultValue>true</DefaultValue>
  <Value>>false</Value>
</OptionDeclaration>
</OptionDeclarations>

```

上記のように変更したファイルをユーザーの ASCET インストールディレクトリにコピーして ASCET を起動すると、同じ "Block Diagram" ノードの内容は以下のようになります。

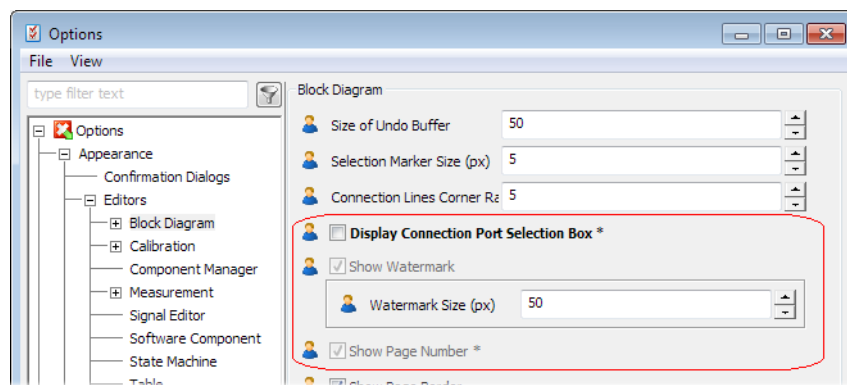


図 2-2 オプションの表示内容 (<Value> と <DefaultValue> をカスタマイズ)

Show Watermark オプションと **Show Page Number** オプションは編集不可になり、さらに *.aoc.xml ファイル内に追加された <Value> パラメータにより、カレント値が変更されています (図 2-1 参照)。

もしも <Value> パラメータを追加せずに <DefaultValue> パラメータの変更のみを行った場合は、“Block Diagram” ノードは図 2-2 とは若干異なる内容になります。カレントオプション値は変更していないので、オプションの値は 図 2-1 に示されるシステムデフォルト値のままとなります。

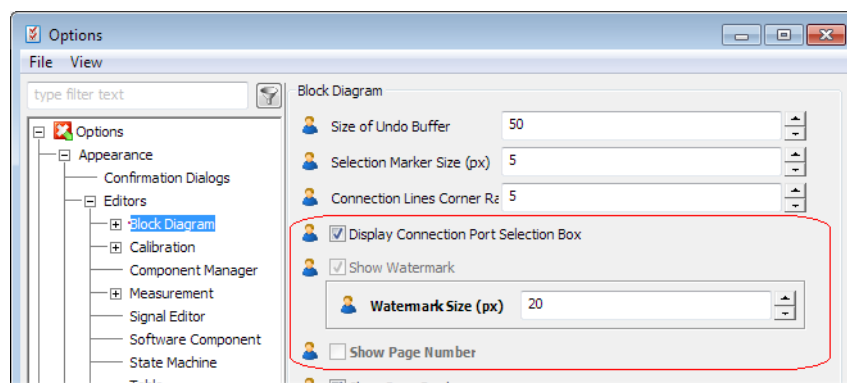


図 2-3 オプションの表示内容 (<DefaultValue> をカスタマイズ)

System Defaults ボタンをクリックすると、カレントノード上のすべてのオプションにデフォルト値がセットされます。

ASCET を閉じて再起動しても、変更された値とデフォルト値がそのまま保持されています。

3 ASCET-DIFF – デフォルト設定のカスタマイズ

ASCET-DIFF で ASCET モデルの比較を行う際に、社内の規定に合わせて ETAS デフォルトコンフィギュレーションを変更することができます。

3.1 項で、比較コンフィギュレーションが ASCET-DIFF 内でどのように扱われるかを説明し、3.2 項でそのデフォルト設定を変更する方法を説明します。

注記

ASCET オプションとは異なり、ASCET-DIFF の比較コンフィギュレーションを「編集不可」に設定することはできません。各ユーザーはデフォルト値を自由に変更することができます。

3.1 ASCET-DIFF プリファレンス

ASCET-DIFF の “Preferences” ダイアログボックスには、さまざまな比較コンフィギュレーションが含まれています。

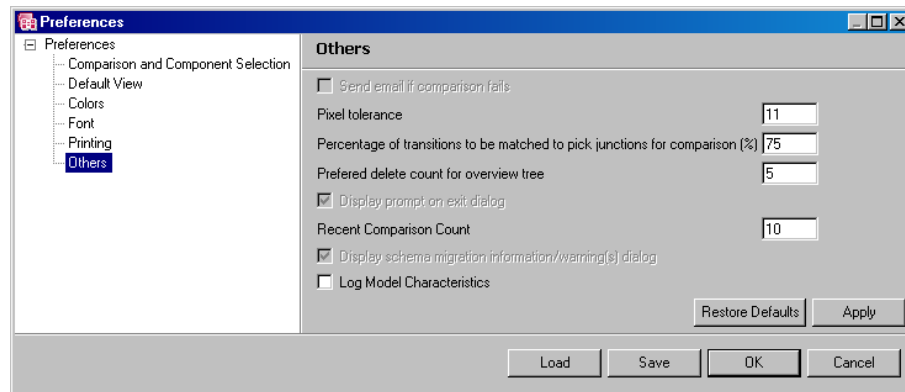


図 3-1 ASCET-DIFF – “Preferences” ダイアログボックス

ASCET-DIFF をインストールすると、ETAS のデフォルトコンフィギュレーションが含まれる ASCII ファイル `DamePreferences.properties` が作成され、ASCET-DIFF インストールディレクトリ下の `plugins\com.etasgroup.ascet.diff.mainui_1.0.0\resource` に保存されます。

ユーザーが ASCET-DIFF を最初に起動すると、“Preferences” ダイアログボックス内の各オプションに `DamePreferences.properties` ファイル内の値がセットされ、さらにこのファイルが ASCET-DIFF ワークスペースロケーション `workspace\ にコピーされます。ユーザーが “Preferences” ダイアログボックスで設定を変更すると、その内容は ... \workspace\ に保存されます。`

“Preferences” ダイアログボックスの各ノードの **Restore Defaults** ボタンをクリックすると、そのノード上での変更内容が破棄され、デフォルト値に戻ります。

3.2 デフォルト設定の変更

ETAS デフォルト設定の変更は、以下の手順で行います。

- `DamePreferences.properties` ファイルをコピーし、要件に合わせて内容を変更します (3.2.1 項と 3.2.2 項を参照してください)。
- 変更した `DamePreferences.properties` ファイルを配布します (3.2.3 項を参照してください)。

3.2.1 DamePreferences.properties ファイルをカスタマイズする

表 3-1 に DamePreferences.properties ファイル内のエントリと、対応するオプションが表示される “Preferences” ダイアログボックス内の位置（ノード名）を示します。

*.properties 内のエントリ	有効な値	パラメータ – “Preferences” ダイアログボックス内の位置
tolerance	整数	Pixel Tolerance – “Others” ノード
doSort	現在は使用されていません。	---
triggerLevel	[0..100]	Percentage of transitions to be matched to pick junctions for comparison (%) – “Others” ノード
sendEmail	true / false	Send email if comparison fails – “Others” ノード
ignoreSMComments	true / false	Ignore comments in State machine – “Comparison and Component Settings” ノード
diffElement	[0..255],[0..255],[0..255]	Different item color – “Colors” ノード
displaySchemaMigrationWarnings	true / false	Display schema migration information/warning(s) dialog – “Others” ノード
compareProcess	name / index	Process comparison option フィールド – “Comparison and Component Settings” ノード
sidiff	true / false	Compare Block Diagram/State Machine with SiDiff – “Comparison and Component Settings” ノード
ccodeIndex	[0..9]	C Code – “Default View” ノード
compare	flat / quick / detailed	Comparison Variants フィールド – “Comparison and Component Settings” ノード
deletedElement	[0..255],[0..255],[0..255]	Right new item color – “Colors” ノード
cbrIndex	[0..6]	AUTOSAR Calibration Interface – “Default View” ノード

*.properties 内のエントリ	有効な値	パラメータ – “Preferences” ダイアログボックス内の位置
bdIndex	[0..8]	BD – “Default View” ノード
ignoreESDLComments	true / false	Ignore comments, spaces and blank lines in ESDL/ CCode – “Comparison and Component Settings” ノード
csrIndex	[0..6]	AUTOSAR Client Server – “Default View” ノード
ignoreSequenceCalls	true / false	Ignore sequence calls – “Comparison and Component Settings” ノード
promptOnExit	true / false	Display prompt on exit dialog – “Others” ノード
uncomparedElement	[0..255], [0..255], [0..255]	Not compared item color – “Colors” ノード
logFeature	true / false	Log Model Characteristics – “Others” ノード
preferedDeleteCount	integer number	Prefered delete count for overview tree – “Others” ノード
newElement	[0..255], [0..255], [0..255]	Left new item color – “Colors” ノード
esdlIndex	[0..8]	ESDL – “Default View” ノード
compareComponents	sameName / sameOID / twoSelected	Component selection option フィールド – “Comparison and Component Settings” ノード
compareSeqCallOrder	true / false	Compare order of sequence calls – “Comparison and Component Settings” ノード
ignorePosition	true / false	Ignore label position – “Comparison and Component Settings” ノード

*.properties 内のエントリ	有効な値	パラメータ – “Preferences” ダイアログボックス内の位置
compareOpenClosedHierarchy	true / false	Compare open and closed hierarchy state – “Comparison and Component Settings” ノード
snrIndex	[0..6]	AUTOSAR Sender Receiver – “Default View” ノード
recentComparisonEntries	整数	Recent Comparison Count – “Others” ノード
enumIndex	[0..2]	Enum – “Default View” ノード
projectIndex	[0..12]	Project – “Default View” ノード
swcIndex	[0..11]	AUTOSAR Software Component – “Default View” ノード
ignoreBDComments	true / false	Ignore comments in BD – “Comparison and Component Settings” ノード
Font	PC にインストールされている フォント	Font – “Font” ノード
modeGroupIndex	[0..2]	Mode group – “Default View” ノード
ignoreNotes	true / false	Ignore notes – “Comparison and Component Settings” ノード
FontSize	8, 9, 10, 11	Font Size – “Font” ノード
ignoreElementComments	true / false	Ignore comments in Elements – “Comparison and Component Settings” ノード
printHeaderPage	true / false	Print Header Page – “Printing” ノード
minimumScaleFactor	数値	Minimum scale factor for Intelligent Layout – “Printing” ノード

*.properties 内のエントリ	有効な値	パラメータ – “Preferences” ダイアログボックス内の位置
containerIndex	[0..3]	Container – “Default View” ノード
recordIndex	[0..6]	Record – “Default View” ノード
nvdIndex	[0..6]	AUTOSAR NVData Interface – “Default View” ノード
sameElement	[0..255],[0..255],[0..255]	Identical item color – “Colors” ノード
ignoreElementOID	true / false	Ignore element OID and method OID, – “Comparison and Component Settings” ノード
smIndex	[0..8]	Statemachine – “Default View” ノード
ignoreLayout	true / false	Ignore layout – “Comparison and Component Settings” ノード
logoFilepath	グラフィックファイルのパスとファイル名 (* .jpg/* .png/* .bmp)	Logo file path – “Printing” ノード

表 3-1 DamePreferences.properties 内のエントリと設定値、および “Preferences” ダイアログボックス内の対応するパラメータと位置
エントリを変更するには、テキストエディタでファイルを開いて編集します。設定できる値は表 3-1 の 2 列目を参照してください。コメント行を # <comment text> という形式で追加したり、変更の必要がない行を削除したりすることもできます。

3.2.2 DamePreferences.properties ファイルのカスタマイズ例

オリジナルの DamePreferences.properties ファイルには、option=value という形式のデータが順不同で格納されています。

以下に DamePreferences.properties ファイルの変更例を示します。また以下のファイルでは、各エントリが “Preferences” ダイアログボックスに表示されるノード別にソートされています。変更された設定は**青い太字**で示されています。

```
#Fri May 17 15:08:35 CEST 2013
#
#Comparison and Component Settings
compare=flat
compareComponents=twoSelected
compareOpenClosedHierarchy=true
compareProcess=index
compareSeqCallOrder=false
ignoreBDComments=true
ignoreElementComments=true
ignoreElementOID=true
ignoreESDLComments=true
ignoreLayout=false
ignoreNotes=false
ignorePosition=true
ignoreSequenceCalls=false
ignoreSMComments=true
sidiff=true
#
#Default View
bdIndex=0
cbrIndex=0
ccodeIndex=0
containerIndex=0
csrIndex=0
esdlIndex=0
enumIndex=0
modeGroupIndex=0
nvdIndex=0
projectIndex=0
recordIndex=0
smIndex=0
snrIndex=0
swcIndex=0
#
#Colors node
```

```

deletedElement=255,0,0
diffElement=0,0,255
newElement=0,255,0
sameElement=0,0,0
uncomparedElement=128,128,128
#
#Font node
Font=Tahoma
FontSize=8
#
#Printing node
logoFilePath=C:\CI\icons\BMP\AscetDiff_48.bmp
minimumScaleFactor=1.0
printHeaderPage=true
#
#Others node
displaySchemaMigrationWarnings=true
logFeature=false
preferedDeleteCount=5
promptOnExit=true
recentComparisonEntries=10
sendEmail=false
tolerance=11
triggerLevel=75
#
doSort=true

```

3.2.3 変更した DamePreferences.properties ファイルの配布

変更した DamePreferences.properties ファイルを各ユーザーの ASCET-DIFF インストールディレクトリに配布するには、以下のような手順で行います。

- ASCET-DIFF インストールパスを確認します。
パスは以下のロケーションにあるレジストリキーで確認できます。
 - 64 ビットオペレーティングシステムの場合 :
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\ETAS\ASCET-DIFF\6.2
 - 3264 ビットオペレーティングシステムの場合 :
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\ETAS\ASCET-DIFF\6.2
- ASCET-DIFF インストールパスに
 - \plugins\com.etasgroup.ascet.diff.mainui_1.0.0\resource
を追加します。
追加したパスは以下ようになります。

```
C:\ETAS\ASCET-DIFF6.2\plugins\com.etasgroup.ascet.diff.mainui_1.0.0\resource
```

3. 変更した `DamePreferences.properties` ファイルを追加したパスにコピーします。

上記の手順はスクリプトで自動実行することもできます。

変更された `DamePreferences.properties` ファイルが所定のロケーションにコピーされると、直ちにその内容が、ASCET-DIFF “Preferences” ダイアログボックスの **Restore Defaults** ボタンで設定されるデフォルト値になります。

注記

変更済み `DamePreferences.properties` ファイルは、ユーザー定義された既存のプリファレンス設定を上書きしません。

4 お問い合わせ先

製品に関するご質問等は、各地域の ETAS 支社までお問い合わせください。

ETAS 本社

ETAS GmbH

Borsigstrasse 14	Phone:	+49 711 89661-0
70469 Stuttgart	Fax:	+49 711 89661-106
Germany	WWW:	www.etas.com/

日本支社

イータス株式会社

〒 220-6217		
神奈川県横浜市西区	Phone:	(045) 222-0900
みなとみらい 2-3-5	Fax:	(045) 222-0956
クイーンズタワー C 17F	WWW:	www.etas.com/

その他の支社

上記以外の各国支社および技術サポート窓口につきましては、ETAS ホームページをご覧ください。

各国支社	WWW:	www.etas.com/ja/contact.php
技術サポート	WWW:	www.etas.com/ja/hotlines.php

索引

記号

- *.aoc.xml ファイル
 - テンプレートの抜粋 11
 - 例 16
 - テンプレートの作成 10

A

- ASCET
 - オプションのカスタマイズ 8-19
 - 「オプションのカスタマイズ」参照
- ASCET-DIFF
 - プリファレンス 20
 - デフォルト設定のカスタマイズ 20-27
 - 「デフォルト設定(ASCET-DIFF)」参照
- ASCET オプション
 - 外部 ~ 9
 - カスタマイズ不可能な ~ 14
 - 定義 8
 - 「オプションのカスタマイズ」参照

D

- DamePreferences.properties ファイル
 - 配布 26
 - 変更 21
 - 例 (変更後) 25
- 20

X

- XML ファイル

- *.aoc.xml 10, 16
- *.aod.xml 9

あ

- 安全に関する注意事項 5
 - 安全上の注意事項 5
 - 本製品に関する特殊な要件 5

お

- オプションのカスタマイズ 8-19
 - カスタマイズ用ファイル (例) 16
 - カスタマイズ用ファイルの作成 10
 - 機能 9
 - 手順 10
 - テンプレートファイルの作成 10
 - テンプレートファイル (抜粋) 11

か

- 外部オプション
 - ASCET 9
- カスタマイズ用ファイル
 - ASCET-DIFF 21
 - ASCET (作成) 10
 - ASCET (例) 16

て

- デフォルト設定 (ASCET-DIFF) 20-27
 - DamePreferences.properties 20
 - 復元 20
 - 変更 20
- テンプレート *.aoc.xml ファイル
 - 作成 10

抜粋 11

と
問い合わせ先 28

ひ
表記
規則 7
操作手順 6